

大河原土木事務所から 県工事受注者の皆さまへお願い

県では、事故防止を図るために「第6次県工事事故防止対策推進計画」及び「令和8年度工事事故防止対策実施計画」を策定しております。令和8年度県工事事故防止対策実施計画では、工事事故の発生傾向を踏まえ、事務所ごとに安全管理目標及び具体的な取組を定めて、重点的に実施していくこととしております。

このことから、大河原土木事務所では、下記のとおり安全管理目標を設定し、目標達成のための具体的な取組を掲げ、事故防止に取り組んでいくこととします。皆様のご協力をお願いいたします。

安全管理目標

労働災害について

- ・ 事故件数（軽微な事故を含む）、「2件以内」を目標とします。
- ・ 特に、死亡・重傷事故は「0件」を目標とします。

公衆災害について

- ・ 「2件以内」を目標とする。
- ・ 特に、飛び石による交通車両等への物損事故は「0件」を目標とします。

具体的な取組

- 安全管理監督職員による現場点検を全発注工事で年1回以上、監督職員及び主任監督員による現場点検を月1回以上必ず行う。
- 「墜落・転落」「挟まれ、巻き込まれ」の防止に向けて、墜落制止用器具の使用、昇降設備・足場の設置状況、重機と人の配置状況や合図方法等、また、夏季に施工する工事については、熱中症の重篤化を防止のするための体制整備、手順の作成、関係者への周知について安全パトロール等で指導する。
- 除草作業を行う場合、飛び石による交通車両等への物損事故が生じないように、交通誘導員の配置や飛散防護ネットの設置など、事故防止対策を徹底するよう指導する。
- 経験年数の浅い労働者や高齢労働者の事故が多いことから、作業手順や安全に関する研修を十分行うよう指導するとともに、定期的に発注者自ら現場に向かい注意喚起を行う。

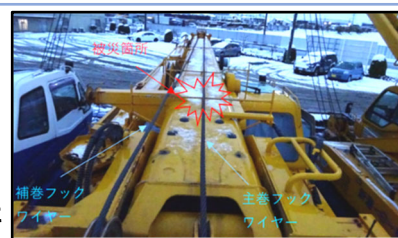
令和7年の事故事例 発生日時：令和7年1月10日（金）8：30頃

事故の型：挟まれ・巻き込まれ

被災状況：右手人差し指開放骨折（全治30日）

事故状況：クレーンの使用前点検時、ブームとワイヤーの凍結解消のためブームに上がりワイヤーを手で揺らしたところ、ワイヤーが動いて巻き込まれ被災した。

事故原因：経験年数の少ない若年労働者の作業手順にない不安全行動によるもの。



各種紹介

- 「第6次県工事事故防止対策推進計画」（宮城県事業管理課 HP）
URL：「<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/dai6jisuisinnkeikaku.html>」
- 「令和8年度県工事事故防止対策実施計画」（宮城県事業管理課 HP）
URL：「<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/reiwa8nenjikoboushitaishaku.html>」
- 「職場のあんぜんサイト」（厚生労働省 HP）
URL：「<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/#>」
- 「エイジフレンドリーガイドライン」（厚生労働省 HP）
URL：「https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10178.html」

QRコード

